

埼玉県NPO活動促進助成事業への応募のススメ

助成事業の活動計画の作り方

やりたいことを実現するために



たまさぽ（彩の国市民活動サポートセンター）
市民活動コーディネーター - 藤井美登利

講師紹介 藤井美登利



埼玉県市民活動コーディネーター
NPO川越きもの散歩代表・東京国際大学非常勤講師

- 2000年 旧川越織物市場取り壊し計画・保存運動
- 署名、見学会等を開催→行政が買い上げ文化財指定
- 行動すれば社会が変わる
- 2007年 埼玉県NPO基金助成事業応募（当時は任意団体で応募可）
- 2007年 NPO法人川越きもの散歩設立
- 2014年 埼玉県庁共助社会づくり課 共助仕掛人
助成金審査会・こども食堂・居場所づくり事業の立ち上げに関わる
NPOと行政、企業をつなぐコーディネーター（6年間）
- 2022年 いきいき埼玉 たまサポ 市民活動コーディネーター
市民団体の相談業務 県内NPO200団体訪問事業



きもの文化を次代へ伝えたい

本日の内容

「なぜ、助成金に応募するのか」動機の確認は前回は参照

- ①埼玉県NPO基金の特徴
 - ②事業内容の組み立て方
 - ③バランスのいい予算の立て方
 - ④審査項目を読み込む
- 1度応募してダメでもあきらめない、運が左右すること多し。
 - 毎年応募団体が違う。来年に向けて準備するのもおすすめ。



埼玉NPO基金の特徴（すごいところ）

①団体内部への人件費も助成してくれる

事業に関わるものに限定。

②NPOが立て替えなくて済む概算払い。

他の助成金は事業終了後に入金されるものが多い。

先輩NPOと県担当者が、使いやすいように改善してきたから。

③備品 5万円以上購入できる

事業に必要なもの、終了後も使用する説明書が必要

事業内容の組み立て方①



課題の提示

- 問題意識・NPOの個性の出るところ。数字などを交えて具体的に・ないもの、あったらいいものや制度、

解決の方法

- 具体的な方法・対象者をはっきり。新しいチャレンジ

見込まれる効果

- 自信をもって宣言。
- ビフォー&アフター
- 狙い・地域への波及効果

ぜひ！やらせてほしい

事業内容の組み立て方②

課題解決のための手法 例

イベント開
催

啓発・衆知

人材育成の
講座開催

印刷物作成
マニュアル
冊子・マッ
プなど

それらの
組み合わせ

予算の立て方



【助成対象経費一覧】

	経費項目	例	必要な添付資料	備考
1	会場費	会場使用料、付属設備使用料	①備品費に計上する場合は、金額を証明するもの 例：見積書、カタログのコピー、金額の積算根拠を説明した文書等 ②備品費以外でも高額な物品や特殊な物品の購入等をする場合は（目安は1回の支出額が10万円を超えるもの）、金額を証明するもの ③委託費の見積書等 ④謝金、交通費、人件費の支給規定	
2	通信運搬費	切手代、宅配便料金、物品の配送料等		
3	旅費交通費	交通費、宿泊費、駐車料金等		講師等に支払う交通費、宿泊費及び事業実施に必要な交通費。
4	消耗品費	紙、インク、パソコンソフト、食材購入費、ガソリン代、講師のお茶代等		パソコンソフトは、5万円以上でも消耗品扱いです。
5	備品費	単価5万円以上の物品		限度額 助成対象経費の20%以内 ※1【備品費】参照
6	委託費	パンフレット等印刷製本費、看板作成費等		
7	謝金	外部講師、外部協力者の謝金等		※2【人件費】と【謝金】参照
8	人件費	助成対象事業に関わるスタッフ(アルバイト)の賃金等		
9	その他	保険料、新聞等掲載料、機材レンタル料、コピー機使用料、振込手数料等		1~8に該当しない経費を具体的に記入してください。

※1【備品費】

備品費を計上するにあたって、①備品を購入する必要性（特殊な物品については使用方法等の説明も）②事業終了後の備品の使用について説明書（A4判1枚程度）の提出をお願いします。

バランスよく組み立てよう

①屋外のイベント



雨天の場合どうなるか

②参加者が予想より少なかった
または 多かった

③助成金返金のケース

【助成対象経費一覧】

	経費項目	例	必要な添付資料	備考
1	会場費	会場使用料、付属設備使用料	①備品費に計上する場合は、金額を証明するもの 例：見積書、カタログのコピー、金額の積算根拠を説明した文書等 ②備品費以外でも高額な物品や特殊な物品の購入等をする場合は（目安は1回の支出額が10万円を超えるもの）、金額を証明するもの ③委託費の見積書等 ④謝金、交通費、人件費の支給規定	
2	通信運搬費	切手代、宅配便料金、物品の配送料等		
3	旅費交通費	交通費、宿泊費、駐車料金等		講師等に支払う交通費、宿泊費及び事業実施に必要な交通費。
4	消耗品費	紙、インク、パソコンソフト、食材購入費、ガソリン代、講師のお茶代等		パソコンソフトは、5万円以上でも消耗品扱いです。
5	備品費	単価5万円以上の物品		限度額 助成対象経費の20%以内 ※1【備品費】参照
6	委託費	パンフレット等印刷製本費、看板作成費等		
7	謝金	外部講師、外部協力者の謝金等		※2【人件費】と【謝金】参照
8	人件費	助成対象事業に関わるスタッフ(アルバイト)の賃金等		
9	その他	保険料、新聞等掲載料、機材レンタル料、コピー機使用料、振込手数料等		1～8に該当しない経費を具体的に記入してください。

※1【備品費】

備品費を計上するにあたって、①備品を購入する必要性（特殊な物品については使用方法等の説明も）②事業終了後の備品の使用について説明書（A4判1枚程度）の提出をお願いします。

審査項目を熟読しよう



1 社会貢献性 → 市民活動は小さな革命。社会をこのように変えたい！

①SDGsを推進し、地域課題の解決に取り組むための目標設定は明確か。

SDGsをうまく活用→事業説明がわかりやすくなる

②活動計画が、地域社会にとって必要性、重要性が高いものか。

問題意識・危機感をクリアに。現在欠けているもの、あったらいいもの、制度。数字などで表せたらベター

2 計画の実現性

③具体的で、実現性のある活動計画が立てられているか。

工程表が詳しい→安心して任せられる。

④活動を進めるために十分な実施体制が整っているか。

会計、スタッフ、など複数人で行う体制（人件費がでる）

3 事業の効果 費用対効果

- ⑤助成金が有効に活用される計画内容か。 例) 関係団体や人とのつながり
- ⑥活動が地域（埼玉県内）に及ぼす効果として大きなものが期待できるか。
→地域の他団体やとのコラボ・ NPOだけで完結しない。開いていく意識をもつ

4 先駆性・モデル性

- ⑦過去に例が少なく新しい社会的価値を創出できているか。
他地域の事例をチェック・気になる事例があれば聞きに行く・講師として呼ぶ
- ⑧または、活動の手法等において他団体の取組のモデルとなり得るか。
(後半のスライド)

5 継続性・発展性

⑨今後活動が継続して行われていくと見込めるか。

規模を縮小しても続けていく体制作り

⑩また、様々な活動に広がる可能性をもっているか。

ステップアップを意識

6 自立促進効果

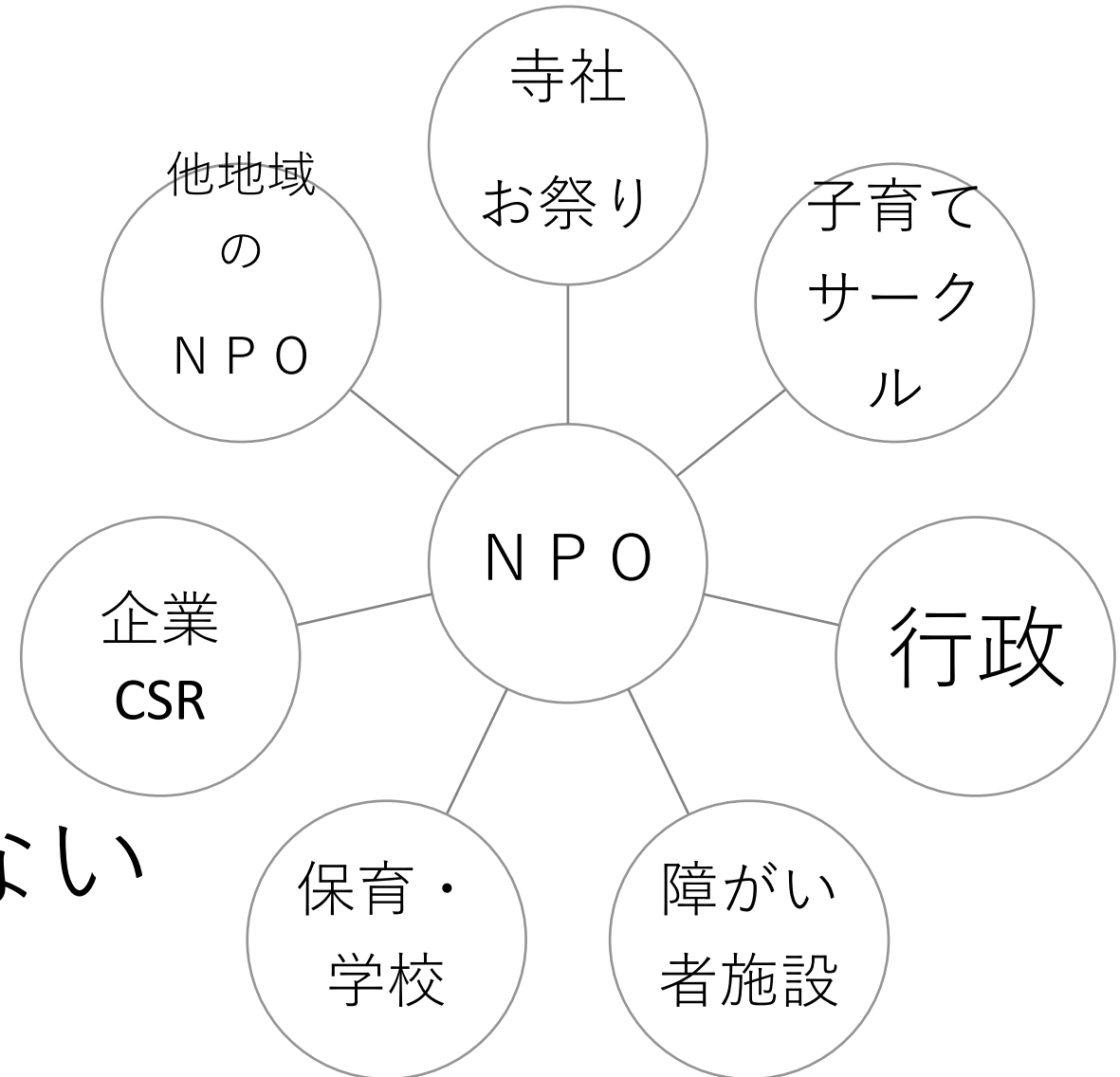
⑪事業収入により活動の継続性を高め、団体運営の持続可能性・自立性を高める内容になっているか。

新規事業の柱として推進していくこと、市場の開拓などビジネスセンスを意識した手法を取り入れる。誰から対価を得るのか明確にする。

先駆性・モデル性のヒント

地域の多様な主体とつながる

コラボレーションの相手



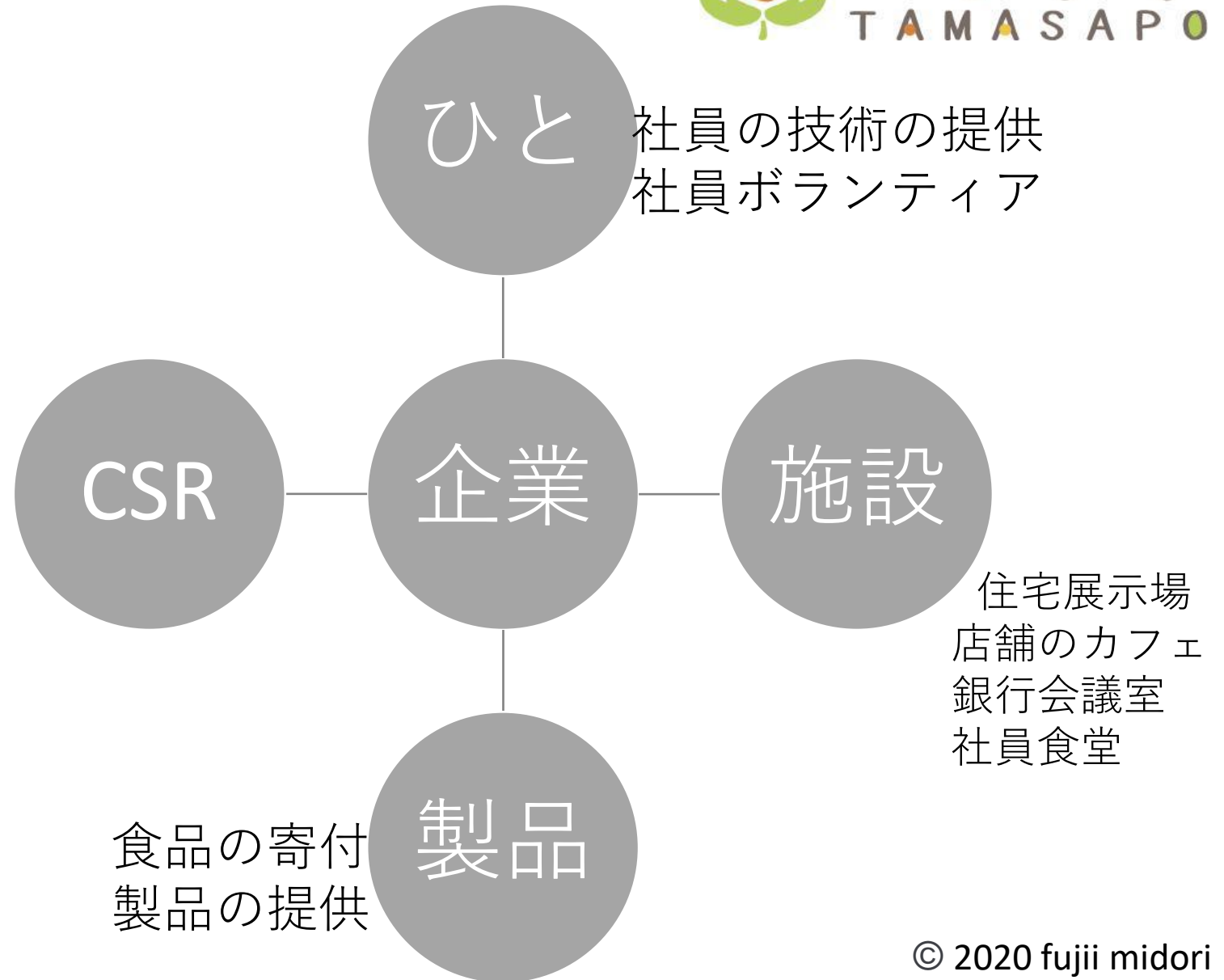
NPOだけで完結しない

先駆性・モデル性のヒント 地域の企業とつながる



募金・寄付
奨学金基金
助成金事業

県共助社会づくり課
社会貢献プロジェクトに
掲載の企業へのアプローチもあり



[県内企業のCSR・社会貢献活動支援](#)

- ▶ [CSR・社会貢献活動ホームページ掲載兼表彰申込様式等](#)
- ▶ [県内企業・団体のCSR・社会貢献活動一覧](#)
- ▶ [SAITAMA社会貢献プロジェクトホームページ掲載申込みについて](#)
- ▶ [令和4年度「SAITAMA社会貢献賞」](#)
- ▶ [ひろがるつながる社会貢献ワークショップ](#)
- ▶ [ひろがるつながる社会貢献ワークショップ（令和5年度）](#)
- ▶ [多様な主体による連携・協働事例](#)

～ワンチームで埼玉版SDGsを推進！～

SAITAMA
社会貢献プロジェクト



県内企業・団体のCSR・社会貢献活動一覧（令和6年3月14日現在 64社・団体）

県内企業・団体のCSR・社会貢献活動をご紹介します。

～市民活動は小さな革命～

1度応募してダメでもあきらめない。
毎年応募団体がちがう。
来年に向けて準備するのもおすすめ。

助成金、活動資金のご相談は「たまさぽ」へ
個別相談もご予約ください。
みなさまの活動を応援します。



きもの文化を次代へ伝えたい